

# 第56回 全国保育問題研究集会



## 愛知集会

まなび つながり みとめあい せーので一歩

保問研80年の歴史に学び、保育の実践と研究を深めよう

保育に思いを寄せるすべての人がつながり、質の高い公的保育を実現しよう

いまを生きる人々の多様性を認め合い、安心して暮らせる平和で民主的な社会をつくろう

2017年 6月9日(金) - 11日(日)

### 9日(金) 東海市芸術劇場 \*一部東海市芸術劇場

12:00	13:00	14:30	14:45	16:15	16:30	17:30	17:45	19:15
受付	開会集会・基調提案	休憩	トークライブ	休憩	歓迎行事	移動	特別企画/分科会打ち合わせ	

### 10日(土) 日本福祉大学東海キャンパス \*一部東海市芸術劇場

8:30	9:15	12:00	13:00	16:30	17:00	18:30
受付	分科会	昼食	分科会	移動	特別講座	

### 11日(日) 日本福祉大学東海キャンパス (分科会)・東海市芸術劇場 (閉会集会)

9:15	11:15	11:45	12:45
分科会	移動	閉会集会	



# 第56回 全国保育問題研究集会 歓迎のことば

みなさん、こんにちは。

愛知(名古屋)での全国集会は、第41回(2002)以来、15年ぶりになります。通算では、8回目の開催となります。

私たちはこの集会に向けて、岐阜・三重の保問研の仲間とともに、精一杯、準備を進めてきました。東京集会を引き継ぎ、若い世代のセンスを生かし、発揮したつもりです。

21世紀になり10数年が過ぎました。にもかかわらず地球上で、貧困や紛争、戦争が絶えず、大変重苦しい社会情勢が、日本全体にも覆っています。しかし、どんなに時代が変化しようと、「子どもは社会の宝」であることには変わりません。

私たちは、子どもたちを守り、育てていく誇りと責務を持っています。そして、何よりも元気な子どもたちが大好きです。子どもたちからパワーをもらっているからこそ、保育が忙しくて大変でも、

明日への未来に希望を持つことができます。

今回の集会テーマは、「まなび つながり みとめあい せーので一歩」です。

3日間、子どもたちの幸せのために、よりよい保育のために、大いに学びあいましょう！

全国の仲間たちと連帯し、つながっていきましょう！

多様な価値観や意見を尊重しあい、みとめあっていきましょう。

そして、手と手をとりあい、勇気を出して、「せーので一歩！」を踏み出しましょう！

この3日間、参加される皆さんが充実し、リフレッシュできるように実行委員、皆で頑張っていきます。どうかよろしく願いいたします。

愛知集会実行委員長 亀谷 和史

東海市芸術劇場  
6月9日(金)

## 開会集会 13:00~14:30

オープニング……響け！とどけ！平和の願い この郡上踊りにのせて！

歓迎あいさつ……実行委員長 亀谷 和史

主催者あいさつ……全国保育問題研究協議会代表 西川 由紀子

基調提案……全国保育問題研究協議会 基調提案作成委員

平和の願いを、岐阜の郡上踊りにのせて届けます！皆さんも一緒に踊りましょう！（劇団風の子の中部 協力）

## わくわくトークライブ 14:45~16:15

—エルマーになった子どもたちが教えてくれたもの—

今こそ、子どもたちと共に豊かなあそびの世界を創り出そう

岩附 啓子：公立保育園を退職後、保育園で読み聞かせを行う一方、保育学生に絵本の楽しさを伝授している。

河崎 道夫：高田短期大学特任教授・三重大学名誉教授

『エルマーのぼうけん』をもとに、ある保育所で保育者が子どもたちと共に創った、『エルマーになった子どもたち』の物語。この実践から、新制度が施行され子どもたちを取り巻く環境が変化している中で、子どもたちにとって大切なあそびとはとは何か、お二人に楽しく語ってもらいます。

## 歓迎行事 16:30~17:30

「童話作家 新美南吉の世界へ」

歌とお話

小野敬子・左近治樹・左近玲子（うたとお話の会）

歌唱オペラ：コール東海

『ごんぎつね』のお話で有名な新美南吉。南吉の作品の多くは、当時の生活や環境が深く関わっています。

歌とお話の会より、小野敬子、左近治樹・玲子夫妻が南吉の魅力を伝え、コール東海が合唱オペラ「ごんぎつね」を演じ、新美南吉の世界観へ招待します。\*「新美南吉」パネル展・同時開催！

## 特別企画 17:45~19:15

「上映 レンガの子ども

— YAJIE CHILDREN OF BRICKS —

講師：河本ふじ江・穴戸健夫

死者5千余人と空前の被害をもたらした伊勢湾台風。被災地ヤジエに東京から二人の若い保育者が向かう。「人間は弁償できない」このことを身をもって経験した子どもたちを前に、揺さぶられる保育観。何かを与えるのではなく、人格として子どもを見ることへと変革していく。河本・穴戸両氏の対談も必見。



特別企画の特設サイトQRコード

東海市芸術劇場  
6月11日(日)

## 閉会集会 11:45~12:45

現地実行委員会によるうた……「命どう宝」

特別報告

閉会の挨拶……実行委員長 亀谷 和史

次回開催地より……兵庫からのアピール

2日目の保育のうたごえWSに参加した皆様も是非ステージへ！東日本大震災、原発再稼働、熊本地震、高江ヘリパッド基地建設…日本はどこを向いているのか、今こそ大切にされるべきは命…全国の参加者とともに響かせる「命どう宝」みんなで平和を歌いましょう！

# 分科会 6月10日(土) 9:15~16:30

6月11日(日) 9:15~11:15

※がついている運営委員は集会実行委員のため退席することがあります

## 1 乳児保育

「乳児保育」分科会は長い歴史があり、常に「子どもの最善の利益」の観点から乳児保育のよりよいあり方を考えてきました。年齢別クラス担当基準をはじめ、乳児の生活と発達を豊かに保障する保育内容・方法、環境構成などを具体的な実践を通して検討していきます。また、施行3年目を迎えた子ども・子育て支援新制度の下で、子どもの学びや発達の原理とは相容れない「保育」と「教育」の分断化や、市場原理の導入による「保育の質」の低下が進行しています。制度の問題点や矛盾点を解消するためにも、実践を踏まえた幅広い実り豊かな討論を共にしていきましょう。

遠田えり(北埼玉)・※亀谷和史(愛知)・佐々木洋子(東京)・柴野邦子(北海道)・友廣万貴子(岡山)・中川伸子(広島)・西林正美(兵庫)・野村朋(大阪)・菱谷信子(福岡)・布施佐代子(愛知)・松田千都(京都)

## 2 集団づくり

いま、人権と民主主義が問われています。子どもたちを民主的な主権者として人間らしく育てていくために、発達年齢にふさわしく豊かな集団生活を保障していきたいと思えます。自治的、民主的集団をめざし、子どもたちの現実や集団の現状をふまえて、実践の道筋と手だてをどう考えたらよいか、地域や家庭をも視野に含めた実践をどうつくりだすのか、また、保育者集団のあり方など、実践をもとに深めていきましょう。

池田かよ子(東京)・大元千種(佐賀)・光本弥生(広島)・丹野広子(仙台)・中島常安(北海道)・長瀬美子(大阪)・中州良子(大阪)・古庄範子(熊本)・服部敬子(京都)・林若子(南埼玉)・山本理絵(愛知)・吉田真理子(三重)・脇信明(大分)

## 3 あそび

子ども時代が豊かなあそびに満ちていることの重要性は誰も否定できません。保育界においてはあそびの実践が進み活発に報告されています。子どもは、あそびの中でどのような自分を育てていくのか、仲間とどのように育ちあうのか、そのために保育者はどのようにあそびを組織し、発展させていったらよいか、深く検討していくことが求められています。栽培や飼育活動も含め、全国各地で展開されている、子どもたちが輝くたくさんの楽しいあそびの実践を交流し、保育者の手立てのあり方を話し合っていきましょう。

岡村由紀子(静岡)・川内良子(福岡)・木都老克彦(神奈川)・※塩崎美穂(愛知)・竹内圭(京都)・田中浩司(東京)・三浦和恵(仙台)・宮城千鶴(大阪)

## 4-a 身体づくり-運動

「身体づくり」は単に体を鍛えることではありません。「身体」とは「中身のある身体」であり、「身体づくり」とは人格のありようを含めての身体の形成をしていくことです。この分科会は、運動を通じて、どのような身体をどのように育てていくのかを、子どもの最善の利益という視点に立って明らかにしていくことです。今なぜその運動なのか、その教材を通してどのような認識や感情・価値観を育てるのかなど、乳幼児期の発達に即していねいに考えていきましょう。

上月智晴(京都)・佐々木 雄大(東京)・塩田桃子(大阪)・永井三千代(北埼玉)・福井英二(福岡)・山口千恵子(兵庫)・※横井喜彦(愛知)

## 4-b 身体づくり-食

「食」は命を守り維持し、成長を保障する基本です。健康な身体は発達の基礎です。子どもたちや保護者の現状を知り、健康な子どもを育てるために何が必要か実践を通して語り合ひましょう。昨年の集会から続いて給食のセンター化・委託化、食材の安全、食育活動や食文化についても語り、学び合ひましょう。

王野宮子(京都)・芹澤早由里(滋賀)・加藤雅美(愛知)・小西律子(兵庫)・長谷部幸子(北海道)・三上かおる(大阪)

## 5-a 認識と表現-文学

これまで提案され、話し合ってきた実践は、絵本の読み聞かせ・お話づくり・劇あそび・劇づくり・紙芝居などの活動、教材としての絵本の分析、父母・地域とかわる園文庫の取り組みなど、多岐にわたっています。多様な実践に迫る共通の視点は、文学と出会うことによって認識を深め、表現し、その中で子どもたちの生活がよりよいものになり、集団の質が高まることです。文学の実践の可能性を追求していきましょう。

小川絢子(愛知)・田代康子(東京)・徳永満理(兵庫)・西川由紀子(京都)・山崎由紀子(大阪)

## 5-b 認識と表現-美術

子どもの絵のとらえ方や見方、指導のあり方について古くから保問研の中にも多様な考え方や実践があります。毎年の分科会では、こうした積み重ねを丁寧に認識しあうと同時に、さまざまな実践の違う点も、結論を急がずじっくり実践の事実を丁寧にし出しあう中で、相互理解を深めていけたらと思います。そこから見えてくるものを大切にしたいと思えます。

板井理(大阪)・伊藤正雄(東京)・田中義和(愛知)・平沼博将(京都)・脇志津子(京都)

## 5-c 認識と表現-音楽

「音楽」は、子どもの育ち、人間形成にどんな役割を果たすのか、「音楽」が人間らしく、子どもたちの自由で伸びやかに楽しく、生きる力になるためには、乳幼児期の音楽教育はどうあったらよいのだろうか。音楽教育では認識とは何であるのか。子どもの発達を保障する・促す教材を、発達段階にそってどう選択していけばよいかなどを考えていきたいと思えます。

安藤正彦(京都)・坂手佳子(大阪)・高橋弘子(群馬)・高橋陽子(北埼玉)・藤波陽子(栃木)・山並道枝(熊本)

## 5-d 認識と表現-科学

子どもたち一人ひとりが、良識ある科学者としての目を持った市民として将来的に育っていくためにはどうしたらよいか。乳幼児にふさわしい科学的なものの方見方・考え方とはいったいどのようなものなのか。それを幼い子どもの中に豊かに育んでいくためには保育者として何を大切に、どのような実践を展開していけばよいか。3・11の原発事故以来、より重要視されるようになったこれらの問題について、実践をもとに考え、議論を深め合ひましょう。

北川洋子(京都)・清原みさ子(愛知)・滝口圭子(石川)・富田昌平(三重)

## 6 保育計画

保育計画作成は、保育全般に関わり、なおかつ基底となる作業といえるでしょう。保育実践の根底にある子ども像、保育計画を目の前の子どもたちの姿と家庭・地域の状況を踏まえて検討し、職員間・保護者も含めて合意形成する必要があります。

今、「幼稚園教育要領」「保育所保育指針」の改定にむけての議論がすすみ、2016年度に大臣告示、1年間の周知期間をおいて、2018年度から施行される予定になっています。保育計画づくりは、保育者の専門性を向上させるものであり、なりよりも子どもの生活やあそび、発達を豊かにするものであるはずで、本分科会で改めて、保問研が大事にしてきた「保育計画とは」を深めていきます。

吾孫子幹(鹿児島)・荒堀育子(京都)・入江慶太(岡山)・合田史宣(愛媛)・早瀬真喜子(大阪)・渡邊保博(京都)

## 7 保育時間と保育内容

子育てを始めた父母の労働や生活の大変さと多様さのなかで、保育時間は長くなり、日曜日や祝日も保育を実施する園が増えてきています。本分科会では、父母のそうした労働実態、生活実態と、そこで一緒に暮らし、育つ子どものことを考え合い、努力したこと、工夫したこと、悩んだことなどを出し合っただけで学んできました。それは、保育園とは何か、という話し合いでもありました。そのような状況を見つめ、また新しい制度のなかで、どのような日課や保育内容を作っていくといいか、子どもとはもちろん、父母とどのようにわかり合っていくといいか、保育者の労働条件をどうしていくといいかなど、たくさんある課題をみんなで考えたいと思います。

河本ふじ江(愛知)・清水民子(京都)・清水玲子(東京)・横井洋子(北海道)

## 8 保育政策と保育運動

「子ども・子育て支援新制度」の施行2年を経て、子どもの生育環境は改善されず、父母や保育現場の職員、自治体担当者の負担は増すばかりです。子どもの貧困や格差、保育事故や虐待事例も深刻です。待機児童問題や職員配置基準の引き上げ、保育士処遇改善など、権利としての保育を支える制度への抜本的な変換が必要です。次々に出される政策の中味は、規制緩和と保育の市場化路線の「企業主導型保育事業」などの積極的展開です。各地での保育要求に応える取り組み、保育実践から深められた「保育の質」を守る政策課題と保育の権利を保障する運動のあり方を考えます。

大宮勇雄(東京)・景山一正(岡山)・近藤進(京都)・杉山隆一(大阪)・※中村強士(愛知)・森山幸朗(島根)

## 9 障害児保育

障がいを持った子どもなど、保育において特別な支援を必要とする子どもたちへの関心が高まっています。支援が必要な子どもへの保育に取り組むことは、クラスの子どもの全体の保育を見直し、職員集団や保護者との協力連携関係を構築していくことにつながります。それは、どの子どもも発達し保育に参加することを保障するインクルーシブな保育を実現することであり、保育の原点を再発見することです。これまでの障害児保育の優れた実践をもとに蓄積された理論を土台にしなが、この時代に必要実践を創造していきましょう。

上地玲子(岡山)・河合隆平(石川)・杉山弘子(仙台)・田中洋(大分)・田中良三(愛知)・野本千明(滋賀)・浜谷直人(東京)・三山岳(京都)・山中万美(愛媛)

## 10 父母と共につくる保育内容

人間らしく生きる力を育てる生活の場としての保育は、昨今の状況から見ても「父母と共に」を抜きに語れません。毎回、父母・保育者それぞれの立場から、お互いに手をたずさえての思いから出発したさまざまな実践が報告されています。父母と保育者との信頼関係をつくる・父母たちの保育参加を広げる・地域に根ざした共同の子育てを進める・父母と保育者が協力して新しい保育を創造するなどが討議されます。

小林和子(東京)・穴戸健夫(愛知)・長瀬弥生(大阪)・成富清美(福岡)・細見玲美(京都)

## 11 乳幼児期の平和教育

平和の人間の形成は現代の教育の原点であり、人類的課題といえるものです。乳幼児期から子どもの心の中に平和のとりでを築く平和教育の営みは、平和な将来の社会を保障する重要な条件であり、最も確実な道といえます。平和とは、単に戦争が無い状態だけでなく、戦争を生み出す元となる飢餓、貧困、差別、失業、虐待などの無い、人権が守られている状態を指すものです。保育現場で、生きづらさを抱えている子どもたち、親たちに向き合い日々取り組んでいる、そのことが平和教育につながるものです。愛されているという安心感や自己肯定感を育てることも仲間と話しあう力を培うことも平和の心を育む実践といえます。平和教育は決して「敷居が高い」ものではありません。日常の保育をあらためて平和教育の視点でとらえ直してやることから始めていきましょう。

石川秀子(広島)・ウィンフィールドひろみ(沖縄)・黒川久美(鹿児島)・千葉朝子(静岡)・船越美穂(福岡)

## 12 地域に開かれた保育活動

子どもの貧困が広がり、少なくとも6人に1人の子どもが経済的にも文化的にも厳しい家庭環境で育つことを強いられています。子育て家庭が地域で孤立することがないように、保育園や幼稚園はこれまでもさまざまな子育て支援活動に取り組んできました。本分科会では、保育園や幼稚園の地域活動とともに、市町村の相談援助活動、地域子育て支援センターなど地域のさまざまな機関・団体の協働の取り組みを交流してきました。いま、子ども・子育て支援新制度のもとで、地域子育て支援活動は新たな展開を迫られています。その課題の検討も含め、地域に開かれた保育活動の展望を切り開きたいと思います。

愛甲明美(鹿児島)・木戸啓子(岡山)・黒澤祐介(兵庫)・野々上昭弘(大阪)・松浦崇(静岡)・水野恵子(東京)・望月彰(愛知)

## 13 特別分科会 異年齢保育

異年齢保育は近年では小規模の園だけでなく、年齢別にクラス編成ができる園でも取り組むところが増え、また幼児だけでなく、2歳児や1歳児を含む編成の異年齢保育も行われています。2016年の全国集会で初めて異年齢保育の分科会が設置され、実践している園、これからの園も含めてたくさんの参加者で議論と交流を行うことができました。今回は異年齢保育を実践するなかでの悩みや工夫や課題を交流し、異年齢保育の展望を語り合い、共に未来を切り開いていきましょう。

伊藤シゲ子(愛知) 佐藤満(滋賀)・谷川芳秋(京都)・宮里六郎(熊本)

# 特別講座

6月10日(土)17:00~18:30

## A 保育政策を考える

— どうなる要領・指針、どうなる保育実践

学習指導要領の改訂に伴い、幼稚園教育要領と保育所保育指針および幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂作業が進められています。どのような内容になるのか、私たちの保育実践、あるいは保育研究にどのような影響をもたらすのか、みんなで考え合ひましょう。

講師：大宮勇雄（福島大学・保育政策検討委員）

## B 生命を守る決意—震災時における保育施設の役割を考える

保問研では、東日本大震災への支援活動を通して、震災時における保育施設のあり方について検討してきました。2016年4月の熊本・大分地震の際には、避難所的な役割を果たす保育園が登場しました。これまでの保問研の震災時における取り組みを総括しつつ、保育園の新たな役割について報告します。

コーディネーター 全国保問研・震災学習部

報告1. 山並道枝（熊本市・やまなみこども園）

報告2. たちかわみのり（熊本市・さくらんぼ保育園）

## C みんなのしゃべり場 悩みや思いを語り合おう

もはや恒例！分科会とは違った雰囲気の中で、保育の魅力や楽しさを語り合ひましょう。

コーディネーター：小林洋司（兵庫保問研）

## D 幼稚園のこれまでとこれから

— 金井幼稚園の保育実践から考える

東京集会の「幼稚園」企画からの継続を意識しつつ、愛知集会では、長年、保問研をともにつくってきた幼稚園実践の内実から学びを深めてみたいと思います。「幼稚園」という保育形態では何が大事にされているのか、いま大切にしたい保育・教育について考えます。

実践報告：木都老克彦（金井幼稚園園長）

コーディネーター：勅使千鶴（日本福祉大学名誉教授）

## E 夢と希望を持ち、人として生きることを考える

— 見晴台学園大学に学び、育ちあう発達・知的障害を持つ青年と教師の話

障害児保育の先頭を切って実践してきた名古屋には、5年制の高校をつくり、当事者の声から大学という学びの場をつくらせてきた歴史があります。人間に対する限りない信頼、保育・教育の可能性を実感し合ひましょう。

講師：大竹みちよ（見晴台学園大学教員）、見晴台学園大学学生

## F ヨーロッパの保育から学ぶ

— スウェーデン・フィンランド・北イタリア

いま、保育界では地球的な規模で「保育の質の向上」を追究しています。今回、日本の保育の実践と理論研究に活かす視座で、上記三国の幼児保育施設の実地調査の結果について、スライド写真を使用して話します。

講師：山本 理絵（愛知県立大学）

## G I Love HOIKU so We Love KENPOU

— 私たちの大好きなこの国の憲法を知ろう

「自由と民主主義」の可能性を求める若者が、自分の言葉で、「自分たちの権利」を語り始めています。私たちにとってかけがえのない「憲法」についてみんなで学び、保育の中で大切にしたいことを考えてみたいと思います。

講師：田巻紘子（弁護士）

報告者：元シールズ所属学生、保育士

## H 貧困と保育—いま子どもの貧困に対峙する

保育実践の役割と可能性

子どもや子育ての貧困に向き合う保育実践のあり方を、「子どもの貧困」の現状を明らかにしながら、関係機関との「連携」を踏まえ、「事例」をもとにパネルディスカッション形式で考えていきます。

コーディネーター：吉葉研司（名古屋学芸大学）協力：名古屋市職労

## I 伝承あそびをやってみよう！

— 子どもの心とつながるあそびのタネをみつけない

「明日から子どもとあそべるあそび」を、身体をうごかしながらのしむ講座です。「あそび心」をくすぐる極意や、誰でもできる「伝承あそび」の世界が体験できます。保問研初参加の方も、ぜひ気軽にご参加ください。

講師：和田亮介（のぎく保育園）・西川典之（劇団風の子中部）

## J 熱中する造形あそびづくり

（定員 50名）

— 希望をかなえるアートのレパートリーを増やそう

その子どもはどんな造形あそびが好きですか。目の前のその子が熱中していることはなんでしょう？子ども自身が、自分の思いを気持ちよく表現するための多様なツールを、全国の保問研美術部会のメンバーがお伝えします。

企画：田中義和（桜花学園大学）・江村和彦（日本福祉大学）

## K 歌って、踊って、つながろう！

— 保育のうたごえワークショップ

一つの歌から平和と人権の尊さを学び、感じたことを参加者と共に表現し、みんなで合唱を創ります。翌日の閉会集会では一緒に舞台上であがって歌いましょう。また、保育現場で実践できる歌やあそびを体感し、仲間とのつながりを深め、明日への一歩を踏み出しましょう。

講師：保母理英子（ひまわり保育園）愛知保育のうたごえの仲間たち

## L 「お酢」ア・ラ・カ・ル・ト—東海地域の醸造文化

愛知県の有名な醸造業の一つに「お酢」があります。江戸時代に発展した江戸前握り寿司にも愛知のお酢が大きくかかわっています。お酢の歴史、お酢の種類、お酢の健康法など、様々な視点からお酢のことを学んでみましょう。何気なく使っていたお酢が一味違うものにも変わるかもしれません。

講師：赤野裕文（(株) Mizkan MD 本部 製品企画部）

## M 歌とお話で綴る新美南吉の世界

— 『ごんぎつね』の里を感じて

全国集会の会場の近くに「ごんぎつね」の舞台となった里があります。オープニングでも披露しますが、今回、特別講座でも公演します。新美南吉の素朴な世界、人の良心にどっぷりつかって、心の洗濯をしませんか？

小野敬子、左近治樹、左近玲子（歌とお話の会）遠山光嗣

# 参加要項

## 参加費

- 一次締切 4月28日(金) 8,000円 (学生 3,000円)
- 最終締切 5月19日(金) 8,500円
- 当日扱い 9,000円
- 弁当(6月10日分) 1,000円
- 宿泊費(6月8日(前泊)、9日、10日)……………宿泊費の詳細は次ページをごらんください。

(注) 最終締切日以降のお申込みは、当日扱いとさせていただきます。お早めにお申し込みください。

## お申し込み

お申し込み開始は・・・2月1日(水) AM10時より インターネット及びFAXにて

### ■ インターネットでのお申し込み

- 1) 「**全国保育問題研究協議会**(全国保問研)」<http://zenhomon.jp> を検索
- 2) (お申し込みは)トピックスから「**名鉄観光**」をクリックしてください

### ■ FAXでのお申し込み **FAX : 052-586-4050**

ご利用の際は、別途お一人様 ¥300 の手数料を頂戴いたします。

### ■ 変更・お取消しについて (トラブル防止の為、お電話による変更・取消は受付いたしておりません。)

お申込の変更・取消はFAXまたはメールにてご連絡ください。なお、取消料は下記の通りです。

参加取消日	参加費取消料	ご返金額	変更・取消日	宿泊費取消料	弁当取消料
5日前迄 (6月3日まで)	500円	取消料・振込料を 除いた残金	利用日7～2日前迄 (午後6時まで)	宿泊費の 20%	無料
前々日迄 (6月7日まで)	参加費の20%		利用日の前日まで (午後6時まで)	宿泊費の 30%	弁当代の50%
前日以降 (6月8日以降)	参加費の100%	返金ございません	利用日の当日 (午前中まで)	宿泊費の 50%	弁当代の100%
			未連絡	宿泊費の 100%	

※台風等の災害により開催が危ぶまれる場合は、ホームページでお知らせいたします。随時ご確認ください。

なおやむを得ず中止となった場合は、資料郵送料として1000円を頂戴し、残金は返金いたします。

### 《お申込・お問合せ先》

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-2-28 名古屋第2埼玉ビル1階  
名鉄観光サービス株式会社 名古屋中央支店 「第56回全国保育問題研究集会」 担当 村田・神谷  
電話：052-586-4545 / FAX：052-586-4050  
E-mail：zenhomon@mwt.co.jp

【営業時間：平日 10:00～17:00 (土日・祝日は定休日となります)】

# 宿泊ホテルのご案内※募集型企画旅行

■2017年6月8日(木)・9日(金)・10日(土)の3日間をご用意いたしております。

■下記料金は1泊朝食付(サービス料・税込)の料金です。

■ご希望ホテルは申込先着順にて配宿させていただきます。

■最少催行人員/1名様(添乗員は同行いたしません)

ホテル名	地域	申込記号	部屋タイプ	料金	交通アクセス
① サイプレスガーデンホテル	金山	A-1	シングル	11880	金山駅南口約1分
		A-2	ツイン	11500	
② 名鉄イン名古屋金山	金山	B-1	シングル	7500	金山駅北口約4分
③ 名古屋金山ホテル	金山	C-1	シングル	9500	金山駅北口約2分
		C-2	ツイン	11500	
④ 名古屋駅前モンブランホテル	名駅	D-1	シングル	8700	名古屋駅桜通口徒歩約2分
		D-2	ツイン	7700	
⑤ 名鉄イン名古屋桜通	名駅	E-1	シングル	10800	名古屋駅桜通口徒歩約8分
⑥ 名鉄イン名古屋駅前	名駅	F-1	シングル	8500	名古屋駅桜通口徒歩約8分
⑦ ホテルリソル名古屋	名駅	G-1	シングル	11880	名古屋駅桜通口徒歩約4分
⑧ ホテルサンルートプラザ名古屋	名駅	H-1	シングル	9500	名古屋駅桜通口徒歩約5分
⑨ セントレアホテル	セントレア	J-1	シングル	15500	中部国際空港駅内
		J-2	ツイン	13000	
⑩ ホテルルートイン常滑駅前	常滑	K-1	シングル	6600	常滑駅徒歩約3分
⑪ 名鉄イン知多半田駅前	半田	L-1	シングル	6000	名鉄知多半田駅徒歩約1分
⑫ カンデオホテルズ半田	半田	M-1	シングル	8600	名鉄知多半田駅徒歩約2分

(※名駅とは名古屋駅のこと)

●左記宿泊プラン以外での館内ご利用分(駐車場、個人的なご利用分等)は  
チェックアウト時に各自で精算ください。  
●ツインをご希望される方はお申込用紙に同室者をわかるようにご記入ください。

## 会場案内

【東海市芸術劇場】 全体会(1日目、3日目午後)

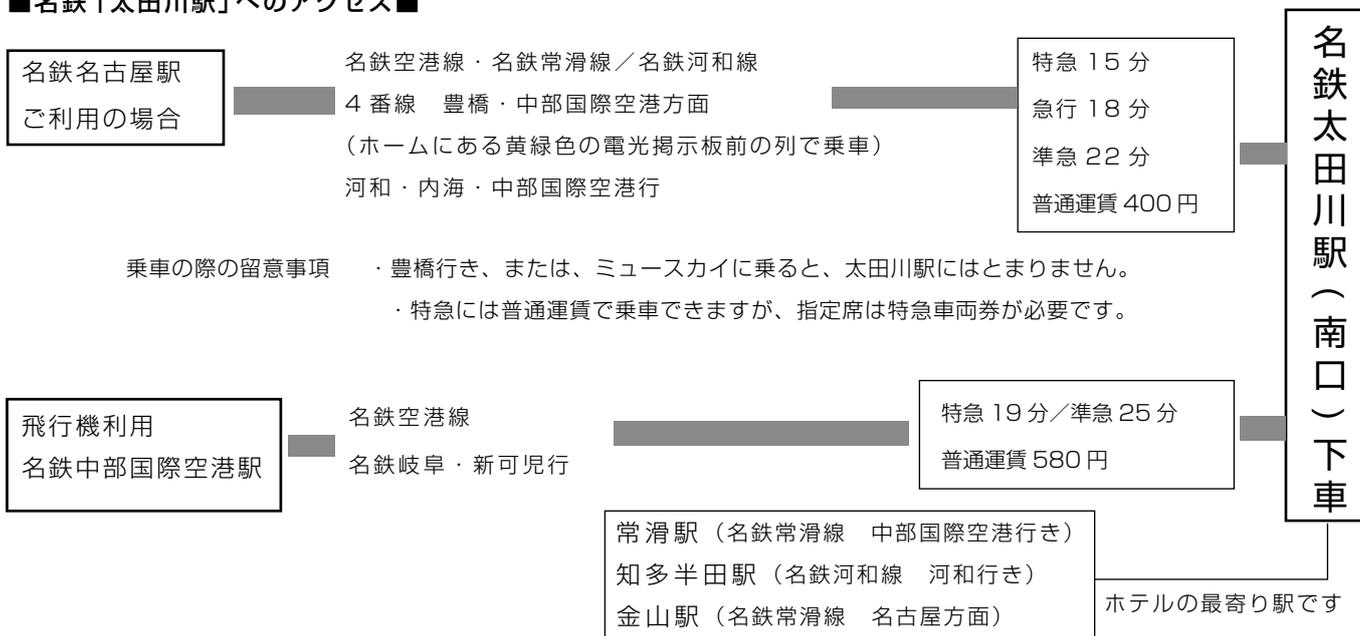
東海市大田町下浜田137(名鉄太田川駅南口すぐ)

【日本福祉大学東海キャンパス】 分科会(2日目、3日目午前)

東海市太田町川南町229(名鉄太田川駅南口徒歩約5分)

3日間とも名鉄「太田川駅」下車、南口へ

### ■名鉄「太田川駅」へのアクセス■



# 第56回全国保育問題研究集会 愛知集会 申込書

FAX:052-586-4050 【名鉄観光サービス(株)名古屋中央支店宛】

【新規・変更・追加・取消】

いずれかに○をご記入下さい

フリガナ		参加証・請求書送付先( 自宅 ・ 職場 ) ○印をご記入
代表者名	( 保問研 )	〒
保問研名		
職場名 学校名等		TEL: FAX:

No.	フリガナ 参加者氏名	性別	分科会 記号	特別講座 記号	宿泊第1希望			宿泊 第2希望	弁当 6/10	職場名 学校名	一般 学生	備考
					6/8	6/9	6/10					
例	トウカイ タロウ 東海 太郎	男	3	E	X	A-1	A-1	B-1	○	○○保育園	一般	No2 と同室
1												
2												
3												
4												
5												

**\*字は大きくはっきりとご記入ください。**

◇ツインを希望される方は、お申込み用紙に同室者を分かる様にご記載ください。

◇上記宿泊プラン以外での館内ご利用分(飲食等個人的なご利用等)は、チェックアウト時に各自ご精算ください。

## ご記入に際して

(必ず一読ください。)

※「参加要項」をご参照の上、ご記入ください

①宿泊希望日欄に、ホテル申込記号をご記入ください。第2希望のホテルもご記入ください。

②ツインルーム希望の場合は、備考欄に同室者の番号をご記入ください。

③6/10の弁当をご希望の方は、弁当欄に○印をご記入下さい。なお太田川駅周辺でも飲食、購入は可能ですが、混雑が予想されますので  
事前に申込をされることをお勧めいたします。当日のお申込の対応は出来かねますので、ご了承ください。(事前予約制)

④お支払いは、銀行振込みのみとさせていただきます。なお、振込手数料はお客様負担となります。

予めご了承ください。

⑤変更・追加・取消などは、こちらの申込用紙に上書きしてFAXしてください。

## 【宿泊のご案内】※募集型企画旅行

■2017年6月8日(木)~6月10日(土)の3日間をご用意しております。下記料金は、1泊朝食付(サービス料・消費税込)の料金となります。

ご希望ホテルは、予約申し込み先着順となります。最少催行人員/1名様(添乗員は同行しません)

## 《お支払い方法》

\*一次締切日以降、郵送にて請求書・参加証等をお送りいたします。

☆お申し込み内容を確認後、指定日までに銀行にお振込みください\*振込手数料はお客様負担

\*事前に送付いたします参加証・お弁当引換券・宿泊券等は、集会参加当日には必ずお持ち下さい。

**\*一次締切4月28日(金)**

**\*最終締切5月19日(金)**